

## 医歯学祭を終えて

歯学部歯学科3年 小川 祐 未

私は第9回医歯学祭実行委員歯学部委員長を務めさせていただきました、歯学科3年の小川祐未です。今年も先輩方が代々受け継いできた医歯学祭を無事に終えることができ、嬉しく思います。また、医歯学祭の実施に向けてお力添えいただきました地域の方々、先生方、学務の方々、先輩、同期、後輩の皆様に心より感謝申し上げます。私一人では何もできなかったと思うと、改めて支えていただいた方々には感謝の気持ちで胸がいっぱいです。ここでは医歯学祭を通して自身が感じたこと、学んだことなどをまとめさせていただきます。

今年の医歯学祭のテーマは「医歯『楽』祭（いしがくさい）」でした。このテーマの通りに、様々な人が楽しめる『楽』しい企画が盛りだくさんとなりました。新潟大学旭町キャンパスでは普段、医学部に医学科と保健学科、歯学部には歯学科と口腔生命福祉学科というそれぞれの学科で別々に学習しています。しかし、医歯学祭では学部学科の垣根を超えて交流し、自身の見える世界が広がると同時にものの見方も変化しました。同じ物事に直面した場合でも捉え方は人それぞれ異なり、自分と異なる意見や異なる目線を持つ他者と共生していくためにはより多くの引き出しを用意しておく必要があります。この医歯学祭で私が特に自分の引き出しを増やせたと思うのは、保健学科の専攻ごとの紹介ブースと文科系の部活動のブースです。保健学科の中に3つの専攻があることは存じ上げていましたが、それぞれの専攻の中で何をしているのか、どのように活躍するのかを具体的に知ることで、お互いの仕事を尊敬する気持ちを再確認したり、卒後病院に出てから診断・治療する際、協力する上で必要な理解を深めたりすることができました。

また、私が医歯学祭の魅力の一つ挙げるならば、たくさんのイベントが散りばめられていることを挙げます。「チーム医療」という言葉を皆さ

んも一度は耳にしたことがあるかと思いますが、医療従事者を志す“同志”が集った旭町キャンパスならではのチームの絆を、部活対抗のステージ企画などで実感していただけたのではないかと思います。ほかに、国際音楽エンターテイメント専門学校の方々にご協力いただいた学内ラジオ放送や、観客の皆様も一緒に楽しめる参加型のビンゴ大会など、ここでは紹介しきれない魅力的なものばかりとなりました。おそらく来年も楽しい企画が盛りだくさんとなると思いますので、今まで医歯学祭にいらしたことがない方や出店の仕事のみでイベントに参加したことがない方はぜひ参加してみることをお勧めいたします。

今回私は友人からの依頼により思いがけず実行委員長になり、不慣れな点が多くご迷惑おかけいたしましたこともありました。しかし、その度助けてくれた方々がいらっしゃったため無事に終えることができ、感謝の気持ちでいっぱいです。最後になりましたが、第9回医歯学祭の開催にあたりましてご理解とご支援いただきました地域の皆様、大学関係者の皆様、協賛病院・企業の皆様、そして企画・運営のため早くから準備して下さった実行委員、スタッフの皆様へ、厚く御礼申し上げます。今年の医歯学祭が皆様にとって良き思い出として心に残りますよう、また、今後も無事に医歯学祭を実施できますよう心から願っております。

